

平成26年度事業報告（概要）

おぢやさくら

おぢやさくら（小千谷福祉施設）は、

「自分や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供」

を基本理念とし、隣接の小千谷さくら病院、ワークセンター小千谷さくらと連携して、総合的な医療・福祉・介護サービスの提供を目指しています。

施設の事業構成は、

- 特別養護老人ホームおぢやさくら（長期入所）定員60名
- 特別養護老人ホームおぢやさくら（短期入所）定員20名
- 特別養護老人ホーム片貝さくら 定員29名
- ケアハウス小千谷さくら 定員30名
- デイサービスセンター小千谷さくら一般型 定員20名
- デイサービスセンター小千谷さくら認知症型 定員10名
- 居宅介護支援事業所片貝さくら
- 高齢者ハウス片貝さくら

となっており、地域で生活する要介護高齢者等が、住み慣れた地域での生活を継続できるよう包括的にサービスを提供できる体制をとっています。

平成26年度は、「サービスの質の向上」や「地域との連携の強化」などを重点課題として事業運営に取り組みました。

●運営の状況

「サービスの質の向上」については、これまで取り組んできた季節行事や栄養マネジメント、看取りケア、認知症プログラムなどに加えて、陶芸教室や英会話教室などのアクティビティに取り組みました。また小千谷福祉施設合同の職員研修を実施することで、コンプライアンスや職員の資質向上につながるよう努めました。

「地域との連携の強化」については、地域イベント等への参加や、施設防災訓練への地域住民の参加、運営推進会議などを通じて、協力体制の構築に努めました。また出前講座を通じた地域啓蒙活動を実施することで地域社会への貢献に取り組みました。

●決算の状況（事業活動収支計算書）

小千谷福祉施設（ケアハウス除く）

（単位：千円）

項目	H26 年度決算
事業活動収入 (1)	594,872
事業活動支出 (2)	587,522
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	7,350
事業活動外収入 (4)	11,012
事業活動外支出 (5)	41,707
経常収支差額 (6)=(3)+(4)-(5)	-23,345

ケアハウス小千谷さくら

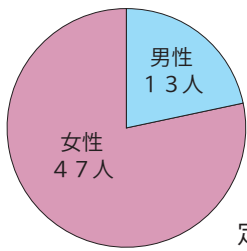
（単位：千円）

項目	H26 年度決算
事業活動収入 (1)	71,882
事業活動支出 (2)	68,167
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	3,715
事業活動外収入 (4)	6
事業活動外支出 (5)	1,725
経常収支差額 (6)=(3)+(4)-(5)	1,996

●ご利用者の状況（平成27年3月31日現在）

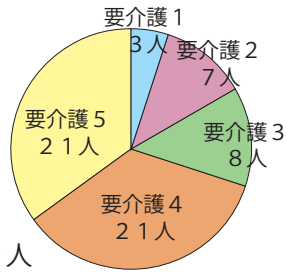
【特別養護老人ホームおぢやさくら】

ご利用者の性別



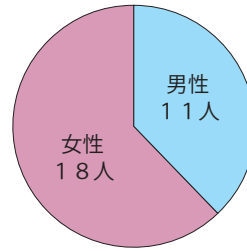
定員60人

ご利用者の要介護度



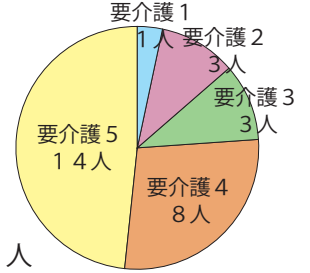
【特別養護老人ホーム片貝さくら】

ご利用者の性別



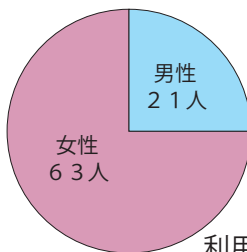
定員29人

ご利用者の要介護度



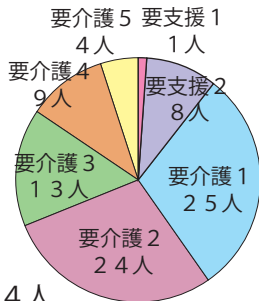
【デイサービスセンター小千谷さくら】

ご利用者の性別



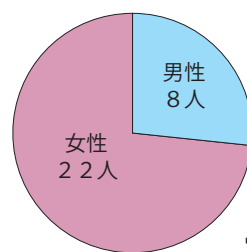
利用者数84人

ご利用者の要介護度



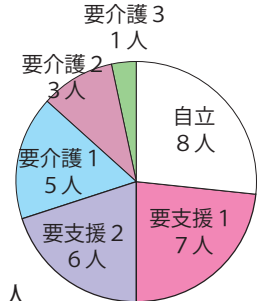
【ケアハウス小千谷さくら】

ご利用者の性別



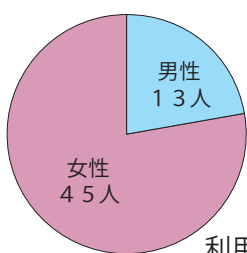
定員30人

ご利用者の要介護度



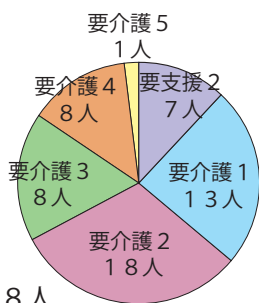
【居宅介護支援事業所片貝さくら】

ご利用者の性別

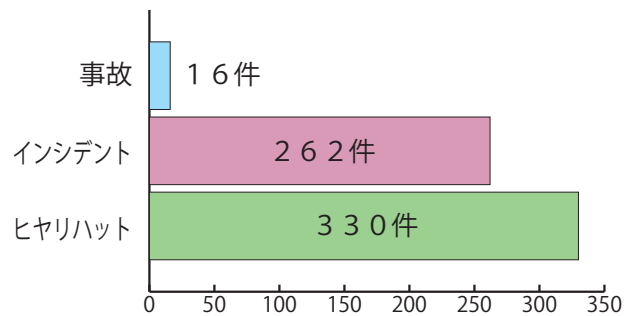


利用者数58人

ご利用者の要介護度



●事故等の状況



事故16件のなかで骨折が8件、誤嚥が2件、離設が1件ありました。またインシデントでは転倒や表皮剥離などが多く起こりました。

今後も安全な介護を提供することで「介護事故ゼロ」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

●苦情の件数

「職員の対応や情報提供が十分でない」「日常の決まりに対する職員の指示が納得できない」という2件の苦情をいただきました。その後職員への教育を実施することで接遇等の向上を図りましたが、今後も継続して職員教育によるスキルアップに取り組んでいきたいと考えています。

また正式に苦情として対応した内容以外にも、運営や介護に対するご要望やご意見はいただいております。伺った内容については真摯に受け止め、改善に努めさせていただきました。

事故……骨折など治療が必要なケガや身体に大きな影響を与えるような事故の件数

インシデント・転倒による打撲など身体に大きな影響のない出来事の件数

ヒヤリハット・ヒヤとした危険な出来事の件数